

第12回  
専門職育成・国際交流セミナー募集要項

# “日韓こころの交流” プログラム

2年間のプログラム  
2024年：日本・関西  
2025年：韓国・済州島予定



## 日程

2024年度：2024年11月26日(火)～12月1日(日) [5泊6日] 日本開催(大阪・京都・兵庫)  
2025年度：2025年11月ごろ [5泊6日] 韓国開催(済州島を予定)

## 対象

福祉現場で働く若手ソーシャルワーカーと社会福祉を学ぶ大学院生(原則40歳以下)  
\*2024年・2025年の両方に参加できることが応募の条件となります。

## 応募締切

2024年7月31日(水) 必着

# 日韓こころの交流プログラムについて

## ～福祉人材の育成と国際交流～

少子高齢化が進む日本と韓国は、高齢者福祉の充実や、子どもに対する施策、労働力確保の問題など、多くの共通する課題に直面しています。少子高齢・人口減少社会における福祉向上をめざすユニバーサル財団は、2003年から日本と韓国の官民学の福祉関係者による国際学術交流を毎年重ねてきました。2008年からは、将来の社会を担う福祉従事者の専門性の向上と若手リーダーの育成のため、「専門職育成・国際交流セミナー」を開始し、コロナ禍を経て本年、内容を一層充実させて第12回目を迎えます。

本セミナーは2年継続型のプログラムで、日韓両国にて若手ソーシャルワーカーや大学院生を公募し、6日間のセミナーを2年にわたり開催します。プログラムの中心となる「視察」では、高齢・児童・障害などの各分野で先進的な取り組みを行なっている施設を訪れ、現場の実践を直接学びます。「総括」の時間には互いの気づきを共有し、福祉の専門家によるスーパーバイズを受けます。プログラムを通して、福祉に対する視野を広げ、新しい実践の一步を踏み出す機会となることを企図しています。

福祉の現場で働く若手ソーシャルワーカーや社会福祉を学ぶ大学院生の皆さまからの積極的なご応募をお待ちしております。

### プログラムの目的

- 1 少子高齢化という共通する課題を持つ日韓両国の社会福祉実践を見聞し、互いの専門的知識や技術の交換・相互発展を図る
- 2 両国の福祉を学ぶ大学院生や、専門職との出会いを通じて、福祉分野における日韓交流を促進する

### 2024-25年度テーマ

## 「多様な家族のためのソーシャルワーク実践」

「家族」の概念を広く捉え、文化的背景の異なる移民家庭、高齢者や若者の単独世帯、ひとり親家庭、同性カップル、血縁関係のない者同士の同居など、多様な形態の「家族」に対する支援について考えます。

#### 主催

公益財団法人ユニバーサル財団

#### 後援(申請中)

一般社団法人日本ケアマネジメント学会  
一般社団法人日本社会福祉学会  
一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟  
公益社団法人日本社会福祉士会  
特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会  
日本ソーシャルワーク学会  
日本地域福祉学会





## 参加者の声

### 奮闘するソーシャルワーカーの姿に勇気をもろう

添田 実結 さん [2019年度セミナー参加]  
横浜市南福祉保健センター（セミナー参加当時）

多様化し、一筋縄では解決できない課題に直面しながらも、どのような支援をすべきか考えている韓国のソーシャルワーカーさんたちと出会って、国や文化の違いはあっても、ソーシャルワーカーが目指す人々の生活をより良いものにするための働きかけは変わらないと感じ、強い刺激を受けました。また、経験年数も様々な参加者同士で意見を交わし、それぞれの課題や悩みを話し合う中で、多くの経験を積んだソーシャルワーカーであっても悩むことがあると知り、それを互いに共有していくことは意義のあることだと感じました。今後もこの繋がりを生かして仕事をしていきたいです。



視察先で発言する添田さん（写真左）



## 参考スケジュール

11月 26日(火)	集合 オリエンテーション
京都 27日(水)	視察（インクルーシブな地域福祉の拠点施設、まちづくりフィールドワーク等） 中間総括
大阪 28日(木)	視察（総合福祉センター、地域包括支援センター等） 中間総括
兵庫 29日(金)	視察（児童相談所、児童養護施設等） 最終総括
30日(土)	各自自由 報告会・懇親会
12月 1日(日)	解散

\* プログラムの内容（スケジュール）は変更することがあります。  
\* 報告会では、セミナーで学んだことを発表していただきます。



## 第12回 専門職育成・国際交流セミナー 募集要項

### 募集人員

日本側 5名

\* 別途韓国で選考された韓国側参加者5名が加わります。通訳がつかますのでハングルの能力は問いません。

### 日程・開催地

2024年度 2024年11月26日(火)～12月1日(日) 5泊6日、日本開催(大阪・京都・兵庫)

2025年度 2025年11月ごろ、5泊6日、韓国開催(済州島を予定) \*変更になる場合があります。

### 対象

福祉現場で働く若手ソーシャルワーカーと社会福祉を学ぶ大学院生(原則40歳以下)

\* 2024年・2025年の両方に参加できることが応募の条件となります。

### 参加費

無料

### 宿泊先

2024年度は大阪市内のホテル

### 申し込み

参加を希望する方は、次のものをユニバーサル財団宛に提出してください。

- 所定の「参加申込書」
- 次の①および②のテーマについて、それぞれ800字程度の作文(作文計2種:各800字程度)。
  - 以下の2つのテーマの中から一つを選択
    - 日韓社会福祉交流の意義
    - ソーシャルワーカーとしての自分のビジョンと強み
  - 2024-2025年度のプログラムテーマ「多様な家族のためのソーシャルワーク実践」に関する自身の経験と、実践において重要だと思うこと(実践経験がない場合、後者を中心に作成)

### 締め切り

2024年7月31日(水) 必着

### 選考結果

9月10日(火)までに文書によって通知します。

\* 提出いただいた申込書類は返却いたしませんのでご了承ください。

\* 採否の理由等、選考に関わる内容についてはお答えしかねますのでご了承ください。

### 備考

- セミナー期間中の保険料・宿泊費・食事代・交通費はユニバーサル財団がお支払いします。旅行傷害保険に加入していただきます。
- 次のものは個人負担していただきます。
  - 日本国内の移動にかかる費用  
2024年度は自宅～大阪市内間の往復交通費、2025年度は自宅～日本国内の国際空港までの往復交通費(韓国までの国際航空運賃はユニバーサル財団がお支払いします。)
  - 自由行動にかかる費用(食事代・交通費を含む)
  - パスポートの取得等の手数料
  - その他現地での小遣い等
- セミナー参加に際して特別な配慮を要する場合は、選考後に費用等、参加に向けての協議をさせていただきます。
- 事前オリエンテーションを10月にオンラインで行います。詳細は参加決定者にお知らせします。
- セミナー終了後に報告書(レポート)を提出していただきます。
- 個人情報の取扱いについて  
参加申込書にご記入いただいた内容は、当セミナー選考委員による選考、当財団からご本人および施設長・指導教員への連絡以外には使用しません。  
また、参加決定者については「本人氏名・施設名・部署・役職(または学校名・研究科・年次)」「施設長氏名(または指導教員氏名)」を講師・スタッフ・参加者等のセミナー関係者に公表します。予めご了承ください。

[お申込み・お問合せ先]



公益財団法人ユニバーサル財団

〒160-0004 東京都新宿区四谷2-14-8 YPCビル5階

電話: 03(3350)9002 Fax: 03(3350)9008

e-mail: info@univers.or.jp www.univers.or.jp